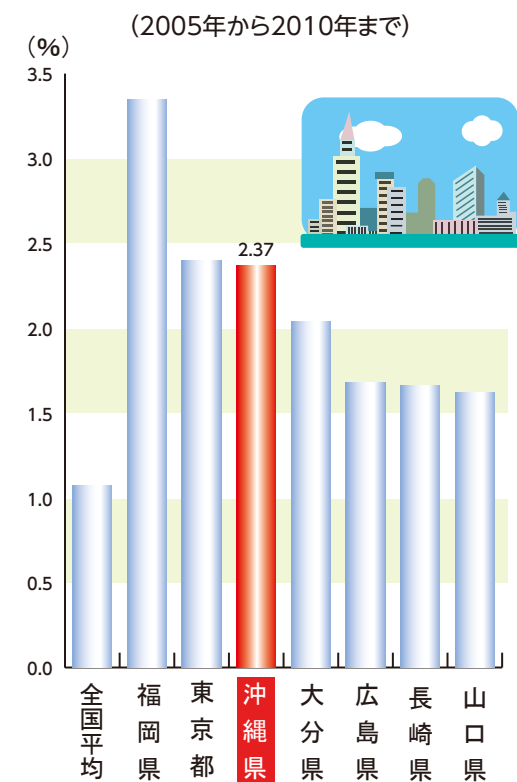


【マンション化率の上昇率】



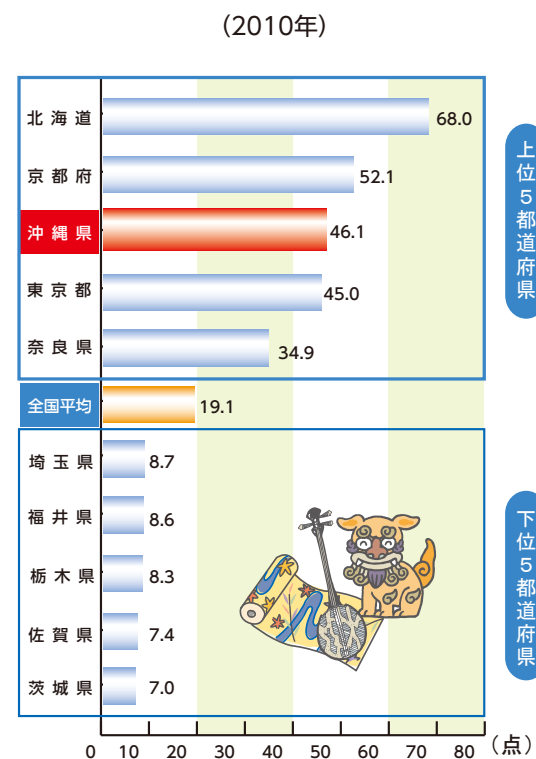
2.37%

いつかは欲しいマイホーム。以前ならマイホームといえば一戸建てを連想したものだが、現在はそのイメージが少し変化してきたようだ。

株式会社東京カンテイによると、沖縄県内のマンションストック戸数は約22,000戸となっている。これを総世帯数約56万世帯で割った値がマンション化率となるが、この値が沖縄は3.93%となっている。2005年に比べ2.37%も上昇しており、このところ5年間では福岡、東京に次いで全国3位の上昇率となっている。県内の100世帯のうち4世帯程度がマンションに住んでいるという計算になる。沖縄は人口密度の割にマンション化率が全国平均に比べ低い状況だ。今後もマンション化率の上昇は続くと思われるが、ふと空を見上げたとき、それまで見えていた青空が狭く感じるときがくるのだろうか？

(海邦総研経営企画部／中山禎)

【都道府県魅力度ランキング】



3位

移住や旅行を計画する場合、これまでと環境がまったく違った場所に行ってみたい方も少なくないだろう。

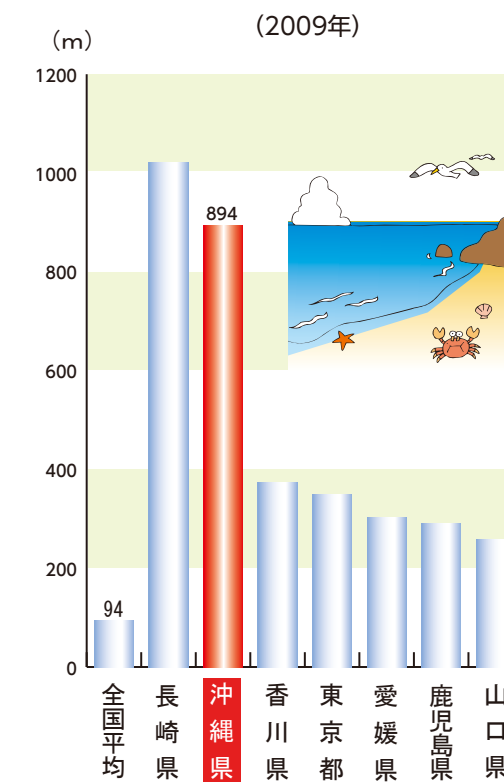
ブランド総合研究所「地域ブランド調査2010」によると、最も魅力度が高かったのは北海道で、2位「京都府」、3位「沖縄県」と前年度と変わらずの人気度を現わしている。ちなみににランキングが上がった都市をみると、大河ドラマ「龍馬伝」の舞台の1つとなった長崎市が10位（前年13位）、東京スカイツリーを建設中の墨田区が158位（前年202位）となっている。

魅力ある都道府県の上位を見てみると、観光資源や自然が豊富で食事もおいしく、買いたい土産や地域産品も豊富であるという特徴があるようだ。

先人が守った自然資源、琉球王朝以来の文化や伝統芸能をしっかり引継ぎ、さらに魅力度を高め、未来へのバトンを繋ぎたいものだ。

(海邦総研会員事業部／照屋昇憲)

【面積あたりの海岸線の長さ】



894m

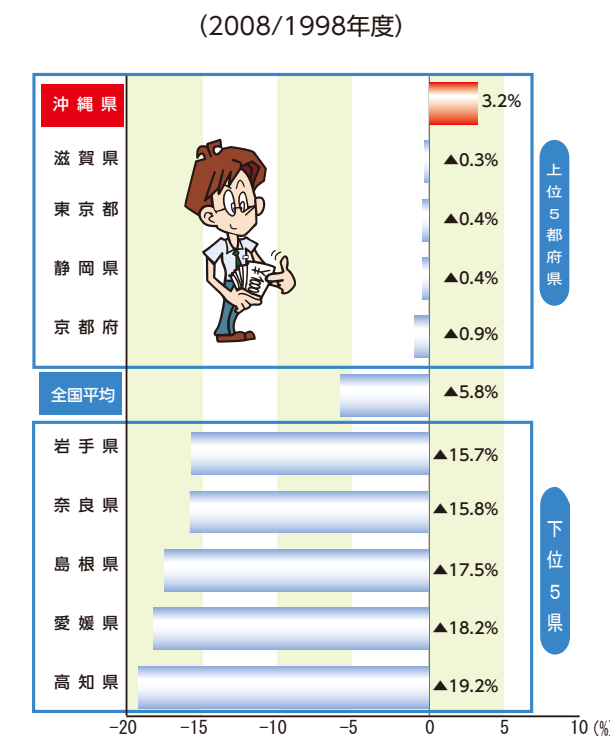
沖縄では梅雨も明け、夏本番を迎えようとしている。これからの季節、天気の良い休日には車でドライブという方も少なくないだろう。

国土交通省の2009年のデータによれば、沖縄県の1平方キロあたりの海岸線の長さは894m、全国で最も長い長崎県の1,020mに次ぐ長さとなっている。3位は香川県の373mで、上位2県は3位以下を大きく引き離している。また、海岸線の長さだけをみれば、1位は北海道の4,454km、2位は長崎県の4,189kmとなっており、沖縄は4位の2,035kmとなっている。

沖縄は島しょ県であることに加え、複雑な海岸線も多く有しているため、変化に富んだ海沿いの美しい景観が多くみられる。休日のドライブには、美しい海岸線を堪能してみたいだろうか…。

(海邦総研経営企画部／上江洲龍)

【県民所得の増加率】



3.2%

他府県と沖縄県の格差の象徴の一つである「1人当たりの県民所得」。復帰以降、最下位が続いているが、最下位をそろそろ脱出する日が近づいてきたのかもしれない。

内閣府「県民経済計算」によれば、2008年度の沖縄の県民所得は2兆8057億円で、10年前の1998年度に比べ864億円の増加。増加率は3.2%増で全国一だ。沖縄県以外の都道府県はすべてマイナスとなっている。

県内では就業者数の増加、観光産業や情報通信産業が好調に推移し、県民所得を引き上げたと思われる。順調に経済成長が続き、1人当たり県民所得についても他府県との差が縮まってきた。10年前は46位との差は約19万円だったが、2008年度はわずか数千円だ。県民のもうひと頑張りですでに最下位を脱出し、さらなるランクアップを目指したいものだ。

(海邦総研経営企画部／島田尚徳)